

絆

清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長
清水はやと
令和6年8月号

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

昔から語られる「二百十日」（にひゃくとうか）という言葉は台風シーズン入りでよく使われています。

もともとは雑節(ざっせつ)の一つであり、立春から数えて210日目にあたり、この時期は昔から農家の厄日として台風が恐れられてきました。

今年の「二百十日」は8月31日であり、昔からの言い伝えは現代にも通じるところがあると感じたところです。

さて気象情報の分析が発達した現代であっても、風水害への備えが大切であることは言うまでもありません。

この機会に「ハザードマップ」等でお住まい周辺の状況を確認するとともに、スマートフォンをお持ちの方は「さいたま市防災アプリ」をインストールして頂き、行政からの情報を積極的に活用した頂ければと考えます。



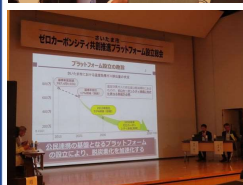
【プロフィール】
昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
直近の選挙では、過去最多得票と得票率で当選
共栄大学 客員教授、指定都市市長会 副会長も務める

ゼロカーボンシティを目指して 共創推進プラットフォームを設立



二酸化炭素排出ゼロを目指して「さいたま市ゼロカーボンシティ共創推進プラットフォーム」を設立しました。

この共創推進プラットフォームが、地球温暖化を含めた環境問題の解決の一助となり、本市のゼロカーボンシティ実現と次世代へ繋ぐ持続可能な都市づくりに向けての架け橋となればと考えています。



岩槻駅～蓮田駅間 乗合タクシーを視察

岩槻駅から蓮田駅間を走る乗り合いタクシーの視察を蓮田市の山口京子市長とともに行いました。

5月下旬に開設した「埼玉県警 岩槻高齢者教習センター」の移動手段としても大いに活用されています。

当日、私たちが「おりづる号」に乗車した際は、実際の利用者の方々数名とご一緒することになり、地域ニーズが高いことをあらためて感じたところです。

